

# プロジェクト進捗管理シート

方針2 豊かさが実感できる暮らしの実現

## 5 雇用・社会参加促進プロジェクト

～「満ち足りた」暮らしのための雇用と社会参加の促進～

総括マネージャー

雇用・就業支援担当部長

### 目 標

雇用環境や社会参加の仕組みを整備することにより、県民誰もが持てる能力を最大限に活かすことのできる社会をめざします。

### 総 合 分 析

「満ち足りた」暮らしのための雇用と社会参加の促進をめざし、5つのアクションによりプロジェクトを推進しました。

達成目標5項目のうち、2項目は「順調」、3項目は「努力を要する」となっています。

- 「県内大学生の就職内定率」：過去10年間の最高値を記録した前年度を更に1.1ポイント上回り、順調に推移している。
- 「県内高校生の就職内定率」：「努力を要する」結果となったが、前年度を上回る高い水準であり、高卒者の就職支援の取組も着実に進んでいる。
- 「障がい者就職率」：前年より低下したが、就職件数は前年度比1.2%増加の1,981件で、6年連続で過去最高を更新しており、障がい者の雇用は順調に進んでいる。
- 「就業率(全国順位)」：上記のような状況のもと、H27年国勢調査の抽出速報では、15歳以上の県民の就業率は、前回調査より0.2ポイント上昇し、59.1%となったが、全国順位は第2位となっている。
- 「自分の能力が仕事や公共的活動で発揮できていると思う人の割合」：「努力を要する」となっており、子育て中や子育てがひと段落した年代の女性で減少していることから、前年度より2.5ポイント低下している。

これらのことから、プロジェクトの目標である「誰もが持てる能力を最大限に活かすことのできる社会」への取組は、女性・若者・高齢者・障がい者などそれぞれの実情に応じて、更に重点的に取り組むべき分野があると考えます。

#### ～プロジェクト推進に向けての課題と今後の方向性～

少子高齢化の進展と人口減少が本格化していく中、活力ある社会を維持していくために、県民誰もが自らの能力を発揮し、多様な人材が活躍することができる社会を実現していく必要があります。

このため、子育て期女性の再就職促進や出産・育児等による離職抑制のため、再就職の相談体制の強化、託児付きセミナーや経験者との交流会の開催とともに、女性が働きやすい職場の風土づくりや就業継続に向けた企業への働きかけを実施するなど、女性の就業支援に積極的に取り組みます。

併せて、仕事と家庭が両立できる職場環境づくりを推進するため、企業訪問による多様な働き方制度導入の働きかけや、「職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度」の普及・拡大、「長野県働き方改革・女性活躍推進会議」による政労使一体の働き方改革に取り組むほか、引き続き、若者の県内企業への就職促進や安定雇用、高齢者の再就職・転職の支援、障がい者の社会参加と雇用促進に取り組みます。

## 達成目標の進捗状況

※進捗区分 ○順調:目安値以上 ○概ね順調:80%以上100%未満の進捗  
 ○努力を要する:80%未満の進捗 ○実績値なし:今年度実績値が把握できない  
 ・進捗割合=(実績値-基準値)/(目安値-基準値)

指標名	年度	単位	基準値 (H22)	H25	H26	H27	H28	目標 (H29)
就業率 (全国順位)	目安値	位		—	—	1	—	1
	実績値		1 (58.9%)	—	—	2 (59.1%) 【抽出速報】		
	進捗区分			実績値なし	実績値なし	努力を要する		
	※県内の15歳以上人口に対する県内の15歳以上就業者の割合	進捗状況の分析	前回調査と比較すると、就業率は0.2ポイント上昇したものの、全国順位では第2位となりました。第1位となった福井県(前回調査第3位)と比較すると、長野県の女性就業率において、特に子育て期に当たる25歳～44歳の層での差が大きく、このことが要因と考えられます。					
【目標設定理由】 現状維持を目標として設定	今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>若者の就業支援体制や高齢者の社会参加促進のための取組の強化</li> <li>子育て期女性の再就職支援に加え、新たに就業継続を支援</li> <li>多様な働き方制度導入の働きかけや「アドバンス認証」の拡大による、働きやすい職場環境整備の推進と企業の人材確保・定着促進</li> </ul>						
【関連アクション】 アクション1, 2, 3, 4								
指標名	年度	単位	基準値 (H24)	H25	H26	H27	H28	目標 (H29)
自分の能力が仕事や公共的活動で発揮できていると思う人の割合	目安値	%		69.8	71.1	72.4	73.7	75.0
	実績値		68.6	70.2	67.0	64.5		
	進捗区分			順調	努力を要する	努力を要する		
		進捗状況の分析	「発揮できている」、「まあ発揮できている」と思う人の割合は、H26年度調査より2.5ポイント低下しました。これは、子育て中でも仕事で能力発揮したいと考える女性や、子育てがひと段落し、仕事だけでなくボランティア活動等で能力を発揮したいと考える女性が多くなってきていることが要因と考えられます。					
【目標設定理由】 現状を上回る数値を目標に設定	今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>子育て中の女性の就業機会を拡大するため、女性が働きやすい職場風土づくりのための企業向けセミナーの開催や職場復帰者との交流会等の実施による女性の就業継続支援</li> <li>女性が活躍できる地域社会を作るため、女性ロールモデルの紹介や関係団体等が行う取組の情報を発信</li> <li>「アドバンス認証」の普及や働き方改革の取組を推進することによる、仕事と生活の両立促進</li> </ul>						
【関連アクション】 アクション1, 2, 3, 4								
指標名	年度	単位	基準値 (H23)	H25	H26	H27	H28	目標 (H29)
県内高校生の就職内定率	目安値	%		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	実績値		99.6	99.8	99.8	99.9		
	進捗区分			努力を要する	努力を要する	努力を要する		
		進捗状況の分析	県内高校生の就職内定率は、H25年度、H26年度は5人の就職が決まらず99.8%、H27年度は就職が決まらなかったのは1人で99.9%となり、目標の全員就職に近づきました。					
【目標設定理由】 現状を上回る数値を目標に設定	今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>「長野県高校就職問題検討会議」における、経済界と連携した希望者全員の就職に向けた取組推進</li> <li>ジョブカフェ信州の出前講座の積極的活用による在学中の職業意識の醸成</li> <li>地域、社会や産業界が学校を支援する仕組みを構築し、体系的なキャリア教育を推進</li> </ul>						
【関連アクション】 アクション2								

(様式第1号)

指標名	年度	単位	基準値 (H23)	H25	H26	H27	H28	目標 (H29)
県内大学生の就職内定率	目安値	%		95.0	95.0	<b>95.0</b>	95.0	95.0
	実績値		93.9	94.1	95.5	<b>96.6</b>		
	進捗区分			努力を要する	順調	<b>順調</b>		
	進捗状況の分析	県内大学等卒業者の就職内定率は、H28年3月末現在で96.6%と前年同期を1.1ポイント、目安値を1.6ポイント上回り、順調に推移しています。この内定状況は、過去10年間で最も高い値であった前年度をさらに上回る高い水準です。						
【目標設定理由】 現状を上回る数値を目標に設定	今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校生や就活前の学生を対象に県内企業の魅力をアピールする業界研究会や県内企業の若手社員に委嘱して結成したシューカツNAGANO応援隊との交流会の開催</li> <li>・学生や保護者に対する就職情報の提供</li> <li>・産学官連携によるインターンシップのマッチングの実施と県内企業に対する理解促進</li> </ul>						
【関連アクション】 アクション2								
指標名	年度	単位	基準値 (H23)	H25	H26	H27	H28	目標 (H29)
障がい者就職率	目安値	%		49.9	51.2	<b>52.5</b>	53.8	55.0
	実績値		48.6	52.6	55.0	<b>53.8</b>		
	進捗区分			順調	順調	<b>順調</b>		
	【関連データ】	(単位:件)						
		指標名	H25	H26	H27	出典: 障がい者の 職業紹介状況 (厚生労働省)		
		障がい者就職件数	1,792	1,957	1,981			
	障がい者の新規求職件数	3,410	3,561	3,685				
進捗状況の分析	就職を希望する精神障がい者の増による求職件数増加に比べ、就職件数が伸び悩んだため、前年度よりも就職率は低下しましたが、H27年目安値は達成しました。							
【目標設定理由】 全国上位となる水準を目標として設定	今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業における職場実習の取組の拡大</li> <li>・障害者就業・生活支援センターにおける個別支援等による障がい者の就職率の向上に向けた取組の推進</li> <li>・農業と福祉の連携を進めるための農業分野における働く場の拡大</li> </ul>						
【関連アクション】 アクション4								

**アクション  
1**

**(女性の雇用と社会参加の促進)**

企業・地域社会の意識改革や子育て支援策の推進、女性の就業継続や再就職に対する支援などに取り組み、女性の雇用と社会参加を促進します。

**【アクションの進捗状況】**

子育て中の女性へのきめ細やかな就業相談やセミナーに加え、ブランクによる再就職への不安解消のためのインターンシップを実施する等の就業支援により、子育て中の女性の就業促進が図られました。

また、積極的な企業訪問による、ワークライフバランスの考え方の啓発や子育て支援の働きかけを行い、子育て応援宣言企業がさらに増加したほか、創業サポートオフィスへの女性職員の追加配置や女性相談強化月間を設けるなど、創業を希望する女性の相談環境を整備した結果、相談件数は前年度の約2倍となりました。

**主な成果**

**●子育て期の女性の就業を促進**

- ・子育て支援センター等の身近な地域に出向いて行う、子育て中の女性への就業相談
- ・託児付きセミナーやインターンシップの実施  
セミナー参加者552人 インターンシップ参加者130人
- ・女性が選択できる職域を広げるためのイベントを  
県下各地で開催 参加者51人
- ・ハローワークマザーズコーナーとの連携による職業  
相談から職業紹介までの一体的支援



職域拡大イベント  
(橋梁工事現場見学会)

子育て中の女性の就職者数 (累計)  
H26年度 247人 ⇒ H27年度 537人

**●ワークライフバランスや子育て支援に取り組む企業を応援**

- ・企業訪問により、短時間正社員制度などの多様な働き方制度導入の働きかけ、ワークシェアなどの柔軟な働き方の提案、ワークライフバランスの考え方の啓発を実施
- ・子育て応援宣言企業への登録の働きかけを実施

「社員の子育て応援宣言」登録企業数 (累計) H26年度 675社 ⇒ H27年度 854社

**●女性の創業サポートを強化**

- ・相談・助言をワンストップで実施するながの創業サポートオフィスに女性職員を追加で配置し、女性が相談しやすい環境を整備
- ・5月、10月、2月を女性相談強化月間に設定して重点支援
- ・女性対象のセミナーを開催し、女性の感性を活かした創業のポイントを学ぶ機会を提供

ながの創業サポートオフィスの実績

相談件数実績 H26年度 221件 ⇒ H27年度 415件  
(うち女性 H26年度 79人 ⇒ H27年度 150人)

創業件数実績 H26年度 9件 ⇒ H27年度 13件  
(うち女性 H26年度 1人 ⇒ H27年度 1人)

女性のためのぶち創業セミナー 参加者数 18人

女性起業家と話そう! 月1サロン 開催回数8回 参加者数245人



長野市で開催された月1サロン

アクション  
2

(若い世代の雇用と自立の促進)

ニートやひきこもりなど支援が必要な若者も含め、若い世代の雇用と自立を促進します。

【アクションの進捗状況】

社会的・職業的自立が必要な若者に対し、生活就労支援センターなどの寄り添い型支援やジョブカフェ信州の多様な就職支援サービスの提供などに加え、市町村やNPOなどの関係機関が連携した支援体制により、若者の就業意識の醸成や雇用の促進、自立に向けた社会参加が順調に進みました。

また、県内外の大学等に進学した学生に対する合同企業説明会、若手社員による「シューカツNAGANO応援隊」との交流、就職情報の提供などにより、県内への就職を促進しています。

主な成果

●若者の就職をワンストップで実現

ジョブカフェ信州において、専門相談員によるキャリア・コンサルティング、セミナー・ガイダンスの開催、県内の協力事業所における就労体験等を実施



(H27年度実績)

・来所者数	8,930人
・セミナー受講者数	8,648人
・出張相談	104人
・就職率	64%

●県出身学生の県内へのUターン就職を応援

- ・合同企業説明会、大学と企業の情報交換会の開催
- ・県内企業の若手社員を「シューカツNAGANO応援隊(30名)」に委嘱し学生との交流会を実施
- ・メールやSNSによる就職情報提供サービスを実施
- ・県外大学と県出身学生のUターン就職協定を締結し、大学を通じた就職情報提供や大学主催のガイダンスで信州就職をアピール



シューカツNAGANO応援隊委嘱式

Uターン就職関連イベント参加者の県内企業就職率 H28年度3月卒 69.6%  
 Uターン就職促進協定校の数 H25年度末:12校 ⇒ H26年度末:24校 ⇒ H27年度末:33校

●就職に困難を抱える人をサポート

自立を目指しながらも様々な要因により課題を抱える者に対して、生活就労支援センター(愛称「まいさぼ」)が様々な団体や関係機関と連携しながら相談者に寄り添い継続的に就労を支援

就労・増収率(町村分) H27年度:目標 41% ⇒ 実績 66.2%  
 生活就労支援センターの増 H26年度 6か所 ⇒ H27年度 23か所

## ●困難を有する子ども・若者の社会的自立を支援

### ○子ども・若者支援地域協議会との連携

困難を有する子ども若者の支援を実施するため、東信地域に子ども若者支援地域協議会を設置し、要支援者の個別ケースに応じた支援内容を検討・支援

- ・支援対象者数 H27年度：目標 50人 ⇒ 実績 63人

### ○困難を有する子ども・若者への社会的自立支援の取組

ニート・ひきこもりなどの社会生活を営む上での困難を有する子ども・若者に対する支援（訪問支援、出口戦略を持った居場所の提供）を行う民間団体に助成

- ・補助対象事業数 H27年度：目標 8件 ⇒ 実績 6件  
(H26年度 5件)



農業体験（居場所の提供事業）

## アクション 3

### （人生二毛作社会の仕組みづくり）

シニア・シルバー世代が、その培ってきた知識と経験を活かして、積極的に就業や社会参加を行うことができる「人生二毛作」社会実現のための仕組みをつくりまします。

### 【アクションの進捗状況】

平成26年度から長野県長寿社会開発センターの本部（長野）及び支部（上小・諏訪）に各1名配置された「シニア活動推進コーディネーター」が、県内各地において、地域の社会福祉協議会、シルバー人材センター等の関係機関によるネットワーク会議の開催などを通じ、連携体制を構築するとともに、就業、社会活動等に係るマッチングを行うなど、高齢者が知識や技術、経験を活かして活躍できる人生二毛作社会の仕組みづくりを進めました。

## 主な成果

## ●「人生二毛作社会」に向けた仕組みづくりを推進

シニア活動推進コーディネーターが、地域の高齢者の社会参加に関する情報の収集・共有・発信等を行い、就労や学校支援活動等にマッチング。

- ・コーディネート相談対応件数 H27年度：目標1,500件 ⇒ 実績3,322件

地域ごとの関係機関によるネットワーク会議や県レベルの人生二毛作推進県民会議を開催

- ・ネットワーク会議 H27年度：目標12回 ⇒ 実績14回
- ・県民会議 2回

県民参加のタウンミーティングを開催し、高齢者の社会参加促進に関する意見交換やシニアの社会参加促進に資する出会いの場を提供

- ・県内10地域で開催 参加者 約1,350名



地域企業とシニア人材による交流会



**アクション  
4**

**(障がい者の社会参加と雇用促進)**

障がいを理解し、障がい者を応援する社会づくりや障がい者が能力を発揮できる環境づくりを進め、障がい者の社会参加と雇用を促進します。

**【アクションの進捗状況】**

障がい者への理解を深める運動の推進、障がい者の就労促進のための民間企業等における職場実習の場の拡大のほか、農業と福祉の連携による農業分野における障がい者の雇用の場の創出に取り組みました。

また、地方事務所の就業支援デスクでは、ハローワークの求人情報も活用しながら職業紹介を行うことで、障がい者の就職に結びつけています。

**主な成果**

**●農業分野における就労機会を創出**

農業分野における障がい者の就労を促進するため、関係機関が連携して、地域の農業法人等と障がい者就労施設等を結び付けるサポーターと情報を共有し、就労機会を創出・拡大

- ・農業法人等への農業活動の支援  
(マッチングによるサポーターの派遣数)  
H27年度：目標35件 ⇒ 実績38件
- ・農業に取り組む障がい者就労施設等の拡大  
H22年度：61カ所 ⇒ H27年度：100カ所



農業活動の様子

**●信州あいサポート運動を推進**

～障がい者が暮らしやすい地域社会(共生社会)の構築～

- ・あいサポーター数 34,443人 (H28年3月末)
- ・あいサポート企業・団体 49企業・団体(H28年3月末)

※あいサポート運動

誰もが、多様な障がいの特性、障がい者への必要な配慮、障がいの有無にかかわらず共に生きる社会のあり方などを理解して、障がい者に対してちょっとした手助けや配慮を実践する運動

あいサポート運動のマーク



障がいのある方を支える「心」を2つハートを重ねることで表現。後ろの白いハートは、障がいのある方を支える様子を表すとともに、「SUPPORTER (サポーター)」の「S」を表現しています。

**●OJTで障がい者の就労を促進**

障がい者の就労を促進するため、企業等における職場実習 (O J T) の場を拡大する取組を実施

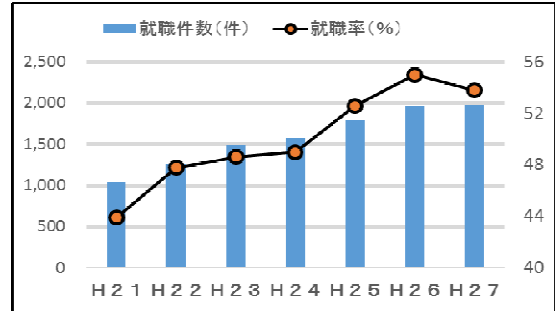
- ・障がい者雇用実績等がない企業等へのO J T推進員の派遣  
H26年度 52件 ⇒ H27年度 50件  
(小売・製造・農業等分野に加え、新たに通信・宿泊分野に派遣)
- ・O J Tをより実践的に行うための障がい者短期トレーニング促進事業へ参加した障がい者数  
H26年度 383人 ⇒ H27年度 475人

## ●「女性・障がい者等就業支援デスク」できめ細かな就業支援

- ・ハローワークの求人情報などを活用した就職希望者の相談対応や求人斡旋
- ・障がい者雇用への理解促進や求人開拓
- ・就職後の職場定着を促進するための事業所内支援者の養成研修会
- ・雇用促進のためのセミナー、企業説明会

女性・障がい者等就業支援デスクの支援で就職した障がい者数 H26年度 52人 ⇒ H27年度 76人

ハローワークにおける障がい者の職業紹介状況



### アクション 5

#### (多様で安心できる働き方の検討)

誰もが自らの価値観を尊重し仕事と生活の両立が可能な社会をめざすため、多様で安心できる働き方について検討します。

#### 【アクションの進捗状況】

企業訪問による多様な勤務制度の導入の働きかけや、多様な働き方等の制度を導入し実践する企業を認証する制度を創設することにより、県内企業での仕事と家庭の両立に向けた取組を促し、働きやすい職場づくりが進みました。

また、市町村で共同利用可能なテレワークシステムの構築や、県、市町村、民間企業等を構成員とした協議会を設立し、多様な働き方のひとつであるテレワークの推進に取り組みました。

#### 主な成果

### ●働きやすい勤務制度の普及を促進

- ・多様な勤務制度を導入・実践し、非正規社員の正社員化や処遇改善に取り組む企業を「職場いきいきアドバンスカンパニー」として認証する制度をH27年7月からスタート
- ・多様な勤務制度や柔軟な働き方を導入した企業の優良事例を広く発信する専用サイトを構築

アドバンスカンパニー認証企業数 H27年度：11社



認証マーク

### ●働き方改革に向けた政労使の取組をスタート

- ・経済4団体、連合長野、労働局、県のトップを委員とする「長野県働き方改革・女性活躍推進会議」をH28年2月に立ち上げ
- ・生き生きと人生を楽しめる働き方の定着・創造に向け、オール信州で取り組んでいくことを宣言



「共同宣言」を手に委員全員で決意表明

### ●仕事と生活の両立が可能なテレワークを推進

- ・総務省実証事業等を活用して、市町村で共同利用可能なテレワークシステムを構築
- ・県、市町村、民間企業等を構成員とした「信州ふるさとテレワーク推進協議会」を設立し、官民一体となって、テレワークの普及拡大を推進

テレワーカー数 H27年度：目標29人 ⇒ 56人  
 (「信州ふるさとテレワーク推進協議会」参加市町村 H27年度 22市町村)